

青雲の志 VII

平和学習講演会

命どう宝・つながれていく命



今月十八日、地元桃園のご出身で沖縄戦を体験された大城盛正さんと、ご長男の大城正和さん（前辺土名小学校長）のお二方を講師にお招きし、「命どう宝・つながれていく命」をテーマに平和学習講演会を行いました。

昭和十九年、当時十八才の盛正さんは、伊江島飛行場建設に二度徴用され、同年第一護郷隊入隊。その後二十歳になると正規軍の宇戸部隊に入隊という異例の経験なされたそうです。戦争に突入し厳しい戦況の中、五回も死に直面するという恐怖を体験したことを含めて、当時の様子を話されました。子ども達も真剣に聴き入っていました。

「偶然の奇跡」の巡り合わせにより無事生還を果たし、戦後結婚。現在、子五人、孫十八人、ひ孫九人、嫁・婿合わせて四十二人という「命のつながり」もできました。「命どう宝」、命が一番大切。悲惨な戦争は二度とあってはいけない。力をあわせて平和な世の中をつくるのが大切だと投げ掛けられました。正和さんからは、もし、父が命を落としていたら、自分はこの世に存在しない。何代も何代も父と母の間に「命」が誕生することが繰り返され、かけがえのない今の自分がある。皆さんも、このように国頭中の生徒として集

国頭中学校
国頭村字辺土名 1463
Tel 41-2205
Fax 41-3071
発行 校長 鳥袋賢雄

まっていることが、いかに偶然の出会いなのかを知って欲しい。このようにお二方から、「命の大切さ」を熱く語りながら、最後に、いじめをなくし、友だちと仲良くしながら楽しく学校生活を送っていくよう力強いエールを送ってくださいました。

戦争体験者が少なくなりがちな沖繩の風化が叫ばれている昨今、子ども達に「戦争の悲惨さや命の大切さを考える」機会になればと、講話を快く引き受けていただいたお二方に心から感謝申し上げます。

〈お礼のことは〉 3年 枝川 日和
今日は戦争の貴重な話をありがとうございました。盛正さんと正和さんの話を聞いて自分が知っている戦争の話よりも、もっと苦しい話を聞き、やっぱり戦争は恐ろしいものだと実感しました。戦争では家族を失ったり、命がけになるくらいとても危険なことだらけで、兵隊になっても武器が渡されなかったり、力仕事ばかりで、食料にも困っている中、生きるために頑張っていて、自分なら耐えきれないだろうな...と思いました。今日この戦争の話を聞いて、恐ろしさを知ることができたので、この恐ろしさを次世代に伝えるようにしていくこと、二度とこのような事がおこらないように、命を大切にしていこうと思いました。今日は本当にありがとうございました。

新里 沙優さん 五位入賞!



六月十五日（土）、国頭地区中学校英語教育研究会主催の英語ストーリーテリングコンテストが、羽地支所で開催されました。国頭地区内の中学校から、38人の生徒がエントリーする中、本校代表として出場した新里沙優さん（三年）が、抜群の発音と表現力で見事五位入賞に輝きました。生徒会役員を務め、放課後の活動と並行しながら、練習に励んだ努力家の沙優さんに大きな拍手を送ります。

国頭村歴史講話!



先月二十三日（木）、一学年総合的学習の時間に、村制施行百周年記念「くんちゃん国頭村近現代のあゆみ」の執筆者の宮城樹正氏を講師にお招きし、「身近な地域について 国頭村の発展、現在と過去」をテーマにご講話を頂きました。

国頭村出身者が沖縄の政治や経済界をリードしていたお話や、昔から現在に至るまでの国頭村の生活や自然、暮らし、地域の変遷について資料や写真を絡めながら、分かりやすく説明を頂きました。地元国頭の素晴らしさや先人達の思いや底力を知る有意義な機会となりました。

PTA美化作業



今月13日、運動会に向けて、環境整備部を中心に、保護者・生徒・職員が参加してPTA作業が行われました。皆で力を合わせての作業で、運動場やその周辺の広い範囲の作業でしたが見違えるように美しくなりました。保護者の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。



事故発生翌日の早朝、本校PTAの中嶺靖さんが、蜂の巣を駆除してくださいました。ありがとうございました。

本校構内で、女子生徒が、アシナガバチに刺されるという事故が発生しました。幸い大事には至りませんが、今後そのようなことが起こらないよう安全点検を徹底していきたいと存じます。被害に遭われた生徒とご家族に衷心よりお詫び申し上げます。